人類主義とその無根拠

イラク戦争での捕虜虐待問題は、二十一世紀に入った現在でも人類主義が生きていることを示す。最近では、米国の人種差別を理由に移民文化の差異を排除する「新人種主義」が台頭する。竹沢泰子編『人類概念の普遍性を問う』で述べられているように、新しい人種主義の嘆願はこうした人類主義の構築を示す。